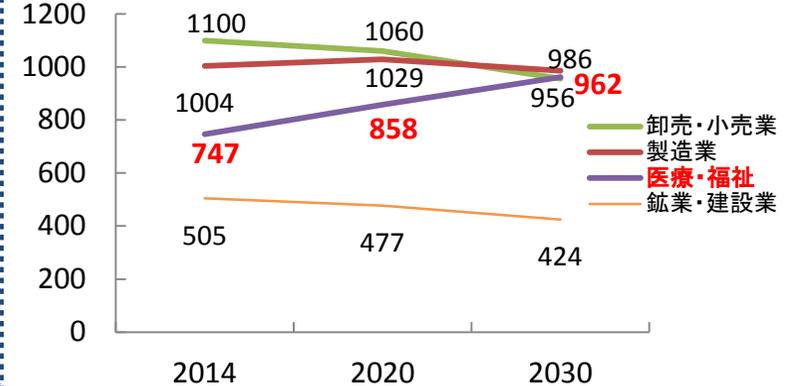


# 医療・福祉人材の最大活用のための養成課程の見直し

## 【現状・課題】

- 医療福祉の就業者数は、2030年に卸・小売業を抜き製造業に比肩。
- 専門資格を持ちながら専門分野で就業していない潜在有資格者は、例えば、看護師・准看護師で約3割、介護福祉士で4割強、保育士で6割強と多数。
- 生産年齢人口が減少する中、今後の医療・福祉のニーズの増大に対応するためには、**潜在有資格者の掘り起こしとともに、多様なキャリアパス構築等を通じた人材の有効活用の視点が必要不可欠**。なお、これは、生産年齢人口が減少する中、他の高付加価値産業での人材確保にも資する。

(万人) 医療・福祉分野の就業者数の推計



※就業者数について、2014年度は総務省「労働力調査」。2020年及び2030年は、雇用政策研究会推計(平成27年12月)の「経済成長と労働参加が適切に進むケース」の値。

## 具体的な取組

### 【対応の方向性】

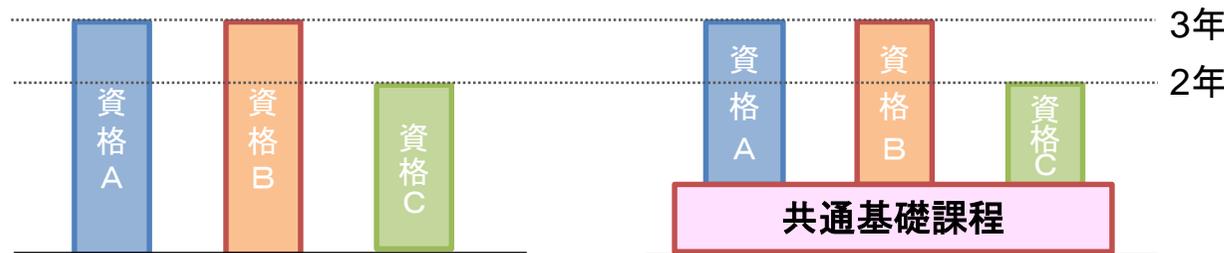
- **複数の医療・福祉資格を取りやすくし、医療・福祉人材のキャリア・パスを複線化。**

- 医療・福祉の**複数資格に共通の基礎課程を創設し、資格ごとの専門課程との2階建ての養成課程へ再編**することを検討。
- **資格所持による履修期間の短縮、単位認定の拡大**を検討。

## 【共通基礎課程のイメージ】(※具体的な制度設計は今後検討)

現在: 資格Aの有資格者が資格Cをとる場合、原則、**新たに養成課程全体(2年間)**を修了する必要。

将来像: 共通基礎課程を修了した資格Aの有資格者が資格Cをとる場合、**短い履修期間で資格取得。**



## (参考) 医療・福祉関係資格の例

### 【医療】

看護師  
准看護師  
理学療法士  
作業療法士  
視能訓練士  
言語聴覚士  
診療放射線技師  
臨床検査技師

### 【福祉】

社会福祉士  
介護福祉士  
精神保健福祉士  
保育士

# 地域包括ケアの深化に向けた新たな施策展開

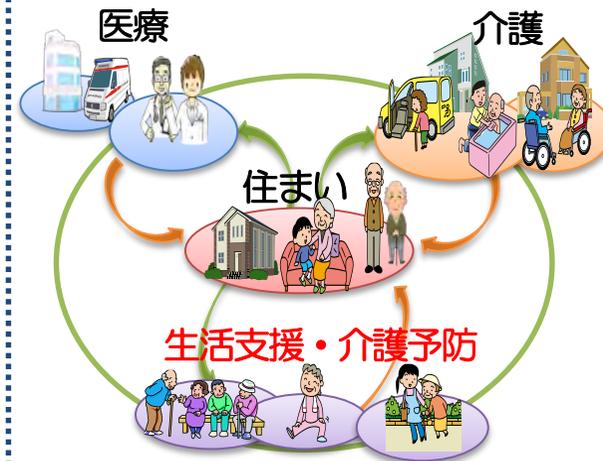
## 基本的な考え方

地域包括ケアシステムは、高齢者等の多様なニーズに応え、自立し充実した地域生活の実現を目指すもの。これまで、**地域医療介護総合確保法等に基づき高齢者施策を軸に推進**。

今後はさらに、地域の生活支援サービスの育成・支援を図る仕組みを整備しつつ、医療、介護等の公的サービスとの適切な組み合わせにより、**高齢者のみならず、地域で支援を必要とする方々の暮らしを支えられるよう、地域包括ケアを深化させていく**。具体的には、

- 医療・介護の**保険者機能を一層強化**し、そのリーダーシップの下で、医療・介護の質の向上や予防等の取組を強力に推進。
- 高齢者のみならず、地域住民の多様なニーズに応えるため、**地域コミュニティにおける「支え合い」の機能の充実**や**民間事業者による保険外サービス**の育成・活用を推進。対象者ごとに整備されている福祉サービスも、「タテワリ」から「まるごと」へと転換（「**地域共生社会**」の実現）。
- 医療分野等の**イノベーションを促進**する振興策を積極的に展開。また、公的サービスを補完する民間の活力・資金を積極活用（**ソーシャルインパクトボンドの活用等**）。

## 地域包括ケアシステム



## 新たな施策展開

### 保険者インセンティブ改革

- データヘルス・介護予防の横展開の加速化
- 保険者機能の強化

※第5回会議(4月4日)提出資料参照

### 「地域共生社会」の実現

- すべての人々が、1人ひとりの暮らしと生きがいを、ともに創り、高め合う社会の実現
- 福祉サービスを「タテワリ」から「まるごと」へ

※第6回会議(4月18日)提出資料参照

### イノベーション促進と民間活力の積極活用【公的サービスの産業化】

- ①介護ロボット等の**次世代型介護技術**を活用した**介護の質・生産性の向上**
- ②**医療系ベンチャーの振興**による**革新的創薬や治療法等の創出**
- ③**多様な保険外サービス等のヘルスケア産業**の健全育成・利活用の推進
- ④ソーシャルインパクトボンドなど**民間の活力・資金の活用**

# イノベーション促進と民間活力の積極活用

【実現できるメリット】 **医療・介護サービスの質の向上** **関連産業の振興によるサービスの充実** **社会保障の効率化**

## ①介護ロボット等の次世代型介護技術<sup>※</sup>の更なる活用

- 現場のニーズを反映した使いやすいロボット等の開発支援やロボット・センサー技術の導入を促進。
- 介護報酬や人員配置・施設基準の見直し等を含め介護技術の**適切な評価方法を検討**。



### 【効果】

⇒**職員の負担軽減、介護の生産性向上、仕事の魅力向上**

※次世代型介護技術・介護ロボット、ICT、AI、センサー、インカム、IoT、ノーリフティング等

## ②医療系ベンチャーの振興

- 厚生労働省等によるベンチャー支援体制の確保など、基礎研究支援から薬事申請等の実務的支援まで、**医療系ベンチャーの振興策を検討中**。

※「医療のイノベーションを担うベンチャー企業の振興に関する懇談会」

### 【効果】

⇒**優れた医薬品等のシーズ実用化、革新的創薬、医療の質向上**

## ③多様な保険外サービス等のヘルスケア産業の発展

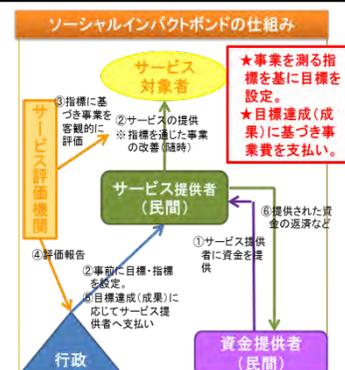
- 「保険外サービス活用ガイドブック」の周知・活用等により**多様な事業者の参入、健全育成と地域での利活用を促進**。
- ケアマネジャー等にサービスの選択肢として公的保険外の介護予防や生活支援等のサービスを普及するなど、**市町村によるサービスの掘り起こし・マッチング**などの取組を支援。

### 【効果】

⇒**暮らしに密着したオーダーメイドの支援、豊かな老後の実現**

## ④民間の活力・資金の活用

- 福祉・医療分野で、**ソーシャルインパクトボンドの仕組みを活用したモデル事業の実施を検討**。成果を測るための**指標設定**などを具体的に研究。
- 「**地域共生社会**」の実現に向けた**地域コミュニティづくり**の取組において、**寄附など民間資金の活用方法を検討**。



### ★ソーシャルインパクトボンドの仕組み

- ・地域の社会的課題解決に取り組む民間事業者に対し、民間主体が資金提供。
- ・行政は、課題解決に向けた目標設定。民間事業者を選定し契約。
- ・独立機関の評価に基づき、目標達成の場合に、行政が契約した報酬を支払い。

### 【地域の先進事例】

- 特別養子縁組(横須賀市)
- ひきこもりの若者の就労支援(尼崎市) など



### 【効果】

⇒**社会的課題解決の新たな担い手発掘、サービスの質向上、社会保障の効率化**

### 【暮らしに密着した保険外サービスの例】



<配食>



<買い物支援>



<旅行>